



妊婦・乳幼児

必ず母子手帳をご持参ください。

行事	月日曜	時間	場所	対象	内容	備考
健 診	乳児健康診査	2月1日(木)	保健 セン ター	平成18年7月生 〃 8月生	診察・問診・計測・健康相 談・栄養相談・育児相談	対象児には個人 通知します。今 までに未受診の 方もぜひお受け ください。
	1歳6か月児 健康診査	3月8日(木)		平成17年7月生 〃 8月生	上記のほか、歯科健診・ フッ素塗布(対象児で 希望者のみ料金100円)	
	3歳児 健康診査	2月8日(木)		平成15年11月生 〃 12月生		
相 談	ママ♡キッズの すこやか相談	2月6日(火) 3月6日(火)	セ支子 ンタ育 1援て	妊 婦 乳 幼 児	計測(乳幼児のみ)・健 康相談・栄養相談・歯 科相談	歯の相談のある方 は、おうちで使っ ている歯ブラシを ご持参ください。
	ウ エ ル カ ー ル ベ ス ク ー ル ～赤ちゃんを一緒に 迎えよう④～ すいせんコース	2月7日(水)		10:00～11:30	妊 婦	「子育て探検！」 親子遊びと育児ママと のおしゃべりタイム

○保健センターで予防接種手帳を発行しています。お子さんの出生後、早めに手続きにお越しください。  
「予防接種と子どもの健康」をよくお読みください。  
最近1か月以内に病気にかかったお子さんは、接種できない場合がありますので主治医にご相談ください。

○予防接種施行令一部改正に伴い、麻しん・風しんの予防接種の受け方が変わりました!!  
平成18年4月1日から麻しん・風しんの予防接種が「麻しん・風しん混合ワクチン」での2回接種(第1期:1歳以上2歳未満  
第2期:満5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間)に変わりました。  
(さらに、平成18年6月2日の法改正により第2期の対象者は全員接種を受けることになりました)

●2歳未満のお子さんで、麻しん・風しん単独ワクチンのいずれも接種していないお子さんもしくは、麻しん・風しんにかかったことがないお子さんについては、保健センターで、麻しん・風しん混合ワクチン接種券(第1期・第2期)を交付していますので手続きにお越しください。

●平成12年4月2日から平成13年4月1日生まれのお子さんは、今年度全員第2期の対象となります。接種期間は今年度中(平成19年3月末まで)となっています。麻しん・風しん混合ワクチン接種券(第2期)を交付していますので、保健センターまでお早めに手続きにお越しください。

●特に、第1期・第2期の対象年齢のお子さんで、麻しん・風しんにかかったことのあるお子さんや麻しん・風しん単独ワクチンでの接種を希望されるお子さんは、単独ワクチンでの接種ができますので、保健センターまでお問い合わせください。(麻しん・風しん単独ワクチンの接種券を交付します)

●麻しん・風しん予防接種 行政措置接種について(麻しん・風しん予防接種が延長して無料で受けられます)  
麻しん・風しんの発生及びまん延を予防するため、平成18年4月予防接種法の改正に伴い麻しん・風しんの定期の予防接種の対象とならなくなった方に対し、以下の条件に該当される方は、無料で行政措置接種を受けられることになりました。  
(実施期間)平成19年3月31日まで(平成18年度中)  
(対象者)平成18年4月1日現在で生後24月(2歳)から90月(7歳6か月)未満の者  
・第1期対象者 生後24月～60月未満の者  
・第2期対象者 生後60月～90月未満の者で定期の2期接種対象者を除いた者  
・松前町の住民基本台帳に登録されている者  
・その保護者が麻しん・風しん行政措置接種を希望している者  
・受けようとする予防接種の病気にかかったことがない者  
・受けようとする予防接種を受けたことがない者  
(2期接種の者は麻しん・風しんの予防接種を受けたことがある者も対象とする)  
該当される方は、松前町保健センターで予防接種券と予診票を発行していますので手続きにお越しください。  
※持参物:母子健康手帳、予防接種手帳

○日本脳炎(第3期)が廃止になりました(対象年齢:14歳以上16歳未満)  
平成17年7月29日から日本脳炎(第3期)が廃止になっています。現在、日本脳炎の予防接種は、積極的な勧奨を差し控えています。第1期(生後6か月以上7歳6か月未満)・第2期(9歳以上13歳未満)の予防接種は今後再開される見込みですので、ご了承ください。

乳がん検診を受けましょう ～一番頼りにされる年代が、「乳がん年齢」です～

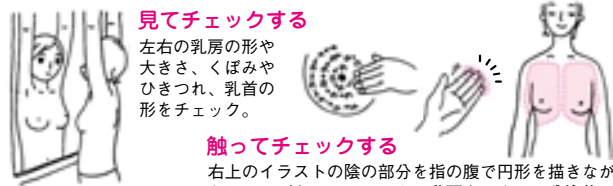
このキャッチフレーズはご存じでしょうか。乳がんは、食生活の欧米化やライフスタイルの変化に伴い増加しています。40～50歳代が一番多く、女性が仕事や子育てなどで最も忙しい年代に多く見られますが、若い方から高齢者まで発症は増えています。今や30人に1人が乳がんにかかると言われ、決して他人事ではありません。乳がんを克服するために大切なことは、しこりができるだけ小さいうちに発見し治療をすることです。

〈マンモグラフィ〉

乳房専用のX線撮影機で乳房をプラスチックの板に圧迫してはさみ撮影します。乳房をはさむときに少し痛みを訴えられる方もいますが、乳房の大小にかかわらず検査を行うことができます。アメリカ、イギリスでは乳がん発生率は高い状態ですが、マンモグラフィの普及により、死亡率は低下しています。松前町でも集団検診で40歳以上の女性はマンモグラフィ検診が受けられます。

〈自己触診〉

月に1回、乳房を自分で見たり、触ったりしてチェックしましょう。(月経がある方は終わってから1週間くらいが乳腺が安定しています)



乳がんは発生率が高くなっていますが、早期発見ができます。松前町は今後、マンモグラフィを中心とした検診になります。定期的な自己触診と40歳以上の方は、マンモグラフィ検診を受けましょう。